

ワークショップ（仮定年齢における住民センター利用者として）

70歳	①住民センターを利用、活用するに当って困っていることや問題点とは	
	立地の問題	場所が遠い（徒歩10分以内が望ましい）。住民センターまで歩いていけない。
	ハードの問題	階段があり避難場所に使えない。未耐震なので怖い。エレベーターが無いので2階の活用がしにくい。駐車場がない。調理設備が無いので災害時の炊き出しが出来ない。いくつかの階段があり入りづらい。トイレの水洗化。トイレが男女兼用で使いにくい。車いすでは階段がづらい。
	利用方法の問題	鍵の管理。いつも開いていない。役が当たるのが嫌。活動の担い手不足。団体が無くなった。事前の申し込みが必要。鍵を取りにいく必要がある。誰でも利用できるかわからない。鍵を借りるのが手間で面倒。住民センターの利用時間がわからない。メンテナンスの当番がわずらわしい。利用手続きが面倒。サークル活動に参加したいがどんな活動があるのか分からない。
	管理運営の問題	管理が面倒。人手不足。
	参加者の問題	若い人にも参加してほしいが来てくれない。百歳体操の参加者が多くて狭く感じる。他の団体と利用が重なった場合、音が気になる。
	備品関係	いすやテーブルを運ぶのが大変。いす等が使いにくい。
	②自分たちで改善できそうなことは	
	立地の問題	近所の家で十分。多様な場所の活用＋住民センター機能。コミュニティバスや福祉委員の車に乗る。
	ハードの問題	福祉施設と連携。バリアフリー。調理設備。バリアフリー化をする。近くの空地进行を借り上げる。設備改善委員会及び定期的改善。
	利用方法の問題	予約方法（気軽に借りれる方法）。回覧、広報にて告知する。掲示板、回覧板、利用、自立させる等周知の向上。活動についての広報（掲示等）。参加しやすいプログラム作り、無料でできる。誰もが集える時間の開放。高齢者ばかりになったらなるべくわかりやすい運営にする。申し込み方法の簡易化。
	管理運営の問題	団体の横串。
	参加者の問題	住民センターを使うために健康でいたい。
	備品関係	若い方に手伝ってもらう。いす等備品の軽量化、使いやすくする。
	③地域の拠点に求められる機能とは	
	利用方法の問題	男の一人暮らしが集う場所。敬老会。多世代交流（親睦）。カラオケ。夜警の出発。健康でいたい。毎日いつでも使えるようにしたい。好きな時に使えるようにする。各団体への場所提供。コミュニケーションの場。参加しやすいプログラム作り。毎日のように出かけるようにしたい。高齢者の集いの場。（独居）老人のコミュニケーション。若い人に教えたい。年寄りの知恵伝承。世代間の情報交換の場。現役の時のスキルを活かしたい、教えたい。世代を問わずおしゃべりの場、無料カフェ。子供たちと一緒に話したい。友達や知り合いを作りたい。おしゃべりしたい。
	趣味など	売ります、買います、あげます、定期化。家庭にある本、DVDを出す。カラオケ。最近の流行に触れてみたい。趣味を極めるサークル。趣味のサークル活動。
	利用料	年を取ると無料に。無料化。

30歳	①住民センターを利用、活用するに当って困っていることや問題点とは	
	情報の問題	住民センターが何処にあるかわからない。利用の仕方がわからない。何をやっているかわからない。子育て情報がない。高齢者が使用するイメージがある。世代の異なる人との関わり方がわからない。年寄りの知恵が欲しい。
	機会・時間の問題	行く機会がない。使う気持ちの余裕がない。忙しくて行きたいが行けない。わざわざ行きたいと思わない。関わる機会がない。仕事で忙しく利用する時間がない。
	利用方法の問題	趣味、サークル活動を安くあげたい。使いたいけど利用理由で断られる。公民館と住民センターの違いがわからない。何に使えるかわからない。子供の集まる場所。住民センターの情報発信がない。たくさんの人が集まる機会がない。人口減⇒集会所の必要ない。準備が面倒。必要ない。スマホ、地域外のつながり多い。外国人には使い方がわからない。
	管理運営の問題	使い勝手が悪い（予約システムがない）。
	子育て支援	泣き叫ぶ我が子をベビーカーで押して行くのが大変。乳児の預かり保育。
	ソフト面の問題	転入者少ない⇒交流の必要性の減少。
	設備の問題	おむつ替えや授乳の場所がない。IT設備がない。
	②自分たちで改善できそうなことは	
	情報の問題	問い合わせ先の掲示。活動内容の広報。活動内容の掲示。IT、SNSの活用。HPや広報等で住民センターの使い方をチェックする。コ・ワーキングスペース、仕事を住民センターでやる。
	機会・時間の問題	地域助け合いボランティア組織を作りそのセンターにする。
	子育て支援	ご年配の方の助けによる預かり保育。
	設備	装飾に凝る（若者化）。Wi-Fiの使用可。インターネット時代の設備化。
	③地域の拠点に求められる機能とは	
	情報発信	旅行、温泉情報センター。
	立地の問題	災害拠点。
	利用方法の問題	習い事で使いたい。親（若い）と子供の共同お料理教室。塾以外の教育プロジェクト。教養講座（先生は住民）。漬物、料理教室。子供服、用品の譲り合い。コミュニケーション。自由に開設できる避難所。使わなくなったレトロな物を見つけたい。若い人同士のつながり作り。気楽に話せる仲間が欲しい。おじいちゃん、おばあちゃんの知恵を知りたい。親子イベント。子育てサロン。祭り。子供を通じて親同士の交流。外国人との交流拠点（将来）。日本語教室。
	子育て関係	子育ての拠点（預かりなど）。育休の間のセンター機能。
	設備	大画面のモニター、プロジェクターが欲しい。防音設備が欲しい（ダンス・バンド）。ITの充実。